

# コロナ禍明け世の中動き出す

中井英策商店とお客様を結び「ミニミニ」の新聞

## きんきん新聞

きんきん新聞  
第48号  
発行：(株)中井英策商店

### 物産展に活気戻る

コロナ禍もようやく落ち着きを見せ始め、人々の動きも活発化、それに合わせてこの3年間ほぼイベントなどの自粛が続いていたが、今年に入ってからは一転、ほぼ3年ぶりとなるイベントが再開され、当社も月からイベントへの出店が続いている。

二月二日と四日は、J R札幌駅北口とさんぽプラザ店舗前で行われた道主催の「胆振振興局」物産フェアに出店、久々の催事出店に、顔なじみのお客様も多く来店された。



物産展で頑張る中井工場長夫妻



業者間商談会も再開

「久しぶりだね、こんな日がやっと来たね」と声をかけあうなど、和やかに活発な時間が到来した。当社からは、中井工場長夫妻が店頭立ち、元気な「いっしょにませ」の掛け声を会場内に響かせていた。

さらに、同一八日と二十九日には、青森県青森市の観光物産館アスパム内のイベントホールで行われた「冬のAライン・イベント」に初出店、青森市での飯寿司のPRを行った。

#### 取引商談会も再開

一方、百貨店や、スーパーなどとの

業者間取引に向けた商談会も、年明けからは本格的に再開、久しぶりに開催されるリアルでの商談会に当社、中井英策商店も積極的に出店参加し、全国各地の商社や小売店、百貨店担当者などの活発な商談を再開している。

当社も、今年2月上旬に東京と大阪で相次いで開催された北海道主催の「北海道産品商談会」に参加、当社の看板商品のいずし類や菓子、新製品の試作品などを持って出店、久々に行われるリアルな商談に、「やっと以前に戻って来た・・・」という嬉しい気持ちで活発な商談を行っている。

### 各会場で飛び交う「久しぶり」のかけ声



## Twitter始めました！！

### フォロワー登録絶賛受付中

(株)中井英策商店

# 今夏、大型新製品発売へ

## 当社初の洋ジャンル挑戦

当社 中井英策商店は、この夏前に向けて従来の当社のイメージとは大きく変わった画期的な新製品を発売する予定で、現在その最終段階に入った。

創業から今年で九十一年、看板商品ともなった「キンキいずし」の発売から四十七年目に入った当社だが、菓子類を除いて、これまでの製造商品は、和洋中の大きなジャンルで言えば大方が和のイメージの商品が大勢を占めて来た。

しかし、現在開発中の商品は、従来の当社イメージを根本から覆す「洋」のジャンルの商品であり、現在、発売に向けての最終的な規格決定段階に入り、商品名やパッケージデザインなどの調整が行

われている。予定では、再来六月中旬までには、販売ルートは限定されるものの一部販売開始にこぎつけるものと見ている。

当社及川社長は「いずしとは全く異なる新しいファン層獲得に貢献してくれるだろう」と大きな期待を寄せており、この「キンキン新聞」でも次号(7月上旬発行予定)では、大々的に発表する計画だ。

## 当社きんきの魚醤が今度は柿の種に

当社の人気魚醤「キンキの露」が今度は柿の種になった！

「キンキの露」で味付けした菓子シリーズ第三段として、横浜市の老舗あられメーカー(株)美濃屋あられ製造本舗とコラボ、「キンキの魚醤で味付けした柿の種」を新発売した。

この商品は、あられ製造の老舗として知られる美濃屋あられさんに製造委託、当社で製造したキンキの魚醤で味付けした柿の種で、キンキの魚醤特有の旨味が柿の種独特のピリッとした辛みとマッチ、おやつとしては勿論、ビールなどのお酒のおつまみには正にピッタリの味に仕上がった。

今月4月中旬から発売予定で、当社通販のほか、道内の道の駅やお土産店などの販売を予定している。65g袋入り270円から。



しじみパイ

当社 中井英策商店は、このほど全国一位の生産量を誇る天然しじみの産地、青森県北津軽郡の十三湖産のシジミを使ったお土産、パイ菓子「大きなしじみのかたちをしたパイです」を新発売した。

## 青森十三湖産しじみが大きなしじみパイ発売お土産菓子になった

甘辛ベースで香ばしく焼き上げた、パイ菓子。しじみは、アルコール分解酵素を活発化させるアラニンやグルタミンなどを豊富に含むことで知られている。原材料の確保の問題もあり、当面は青森県内の道の駅やお土産店などを中心に当社の通販だけの限定販売の予定で、今後生産量を見極めながら販売店を順次拡大する方針だ。「大きなしじみのかたちをしたパイです」は、6枚箱入りで希望小売価格864円(税込)。



# 思い出旅日記・鉄道編 17



当社、中井英策商店代表の及川です。鉄道旅大好きな私が日本全国を旅する人気シリーズ? 今回は、古都奈良から寺社巡りをしながらJR奈良線の旅をしてみました。



小雨降る奈良駅からスタート



日本最古の橋「宇治橋」と紫式部像



平等院鳳凰堂

## 迫方の歴史寺社に途中下車(奈良〜京都JR奈良線)

今回は、前回に引き続き関西の奈良県奈良市から京都までを走るJR奈良線34・7kmを途中下車しながら旅しました。小雨降る生憎の天気、早朝七時二七分、奈良駅始発で終着駅が京都の電車に乗り、この度がスタートした。平日の早朝ということもあり、中高生などの学生の他は客席はまばらで発車、奈良市内を高架線から眺めながら北上、次駅「平城山」と書いてナラヤマと読む駅に続けて、木津駅に到着。ここが正式な奈良線の起点駅になるのだが、ではそれまでの奈良から木津までの路線は、関西本線となるらしい。ということ

は、木津駅は地理的に京都府内に入る為、奈良線と言いつつも京都府内だけを走る不思議な路線だ。電車は、田園地帯と住宅街を交互に車窓から見ながら走る。全体的には、奈良盆地の東側の低い山々の裾に広がる住宅街を縫うように走るの路線であり、古い万葉の世界には無理そうだが、近鉄、京阪の私鉄が並走する区間も多く、私鉄が殆ど無くなつてしまった北海道民の私には珍しい光景が映る。

城陽駅では、通学生や通勤客などが多く乗車、一気に賑わいが増してきた。そして、電車はまず今回

の銚子橋最初の下車駅、宇治駅に到着した。駅を背に、歩いておよそ8分程空度、目的の平等院に到着。見学の前に空腹と底冷えで冷めた体を温めようと、平等院入り口前にあったスタバに入り、ひと休み、平安時代から二気にタイムスリップしたようなお洒落なカフェで体を温め、いざ平等院へ。

### 9割が外国人観光客の伏見稻荷

宇治駅に戻り、再び電車に飛び乗った。宇治駅を出発しておよそ二〇分弱で稲荷駅に着。もちろんあの伏見稲荷大社にお参りするのために下車、ここは稲荷駅の目の前が参道で、観光がもの凄く楽だ。そのためか、外国人観光客が他の施設よりも圧倒的に多いのが



伏見稲荷大社正門

特徴。今回も、ほぼ9割が外国人の印象で、特に白人や東南アジアなどの観光客が目についた。

この伏見稲荷大社は、お稲荷さん信仰の総本山であり、千本鳥居などが有名で、外国人観光客なども多くがこの千本鳥居で参拝を終えるのだが、出来れば稲荷山を登りながら最高峰の一ノ峰を参拝するルートに挑戦して欲しいとお勧めしたい。今回も私は、およそ九十分をかけて登頂、ご利益にあやかりたい一心で登り切った。(次ページに続く)

### 圧倒的スケール東福寺 見学時間オーバーに



紅葉の名所、東福寺

フラフラする足を引  
きつりながら、稲荷駅  
から再び電車を使つて  
最終下車駅、次の駅、  
東福寺駅を目指す。  
途中、「六地藏駅」  
という珍しい駅に着い  
たが、駅の周りは高層  
マンションや大型スー  
パーが立ち並び、想像  
した印象とは全く異な  
り、心の中で思わずガツ  
カリしたが、勝手に想  
像巡らせていた自分に  
思わず笑ってしまった。  
その後、桃山駅、藤森  
駅と続き、東福寺駅へ  
到着。



通るだけで通行料がかかる有名な「通天橋」

東福寺は、我が人生  
でも初めての参拝とな  
り、京都市内でも圧倒  
的なスケールの大きさ  
を誇る寺院だけあつて、  
予定していた時間をか  
なりオーバー、じつと  
り見学したいなら時間  
の余裕が必要だ。この  
ため、今回は境内にあ  
る紅葉の名所として知  
られる通天橋を渡り、  
創建時の鎌倉時代に思  
いを馳せた。噂通り、  
ここは秋の紅葉の時期  
は恐らく最高の景色が  
見られるのだろう・・・  
と想像し、ここを後に  
した。



巨大ターミナルの京都駅

普通歩いて回れる  
距離感だなあ・・・  
と思わせる。  
そして、三度四度  
電車に乗り込み、東  
福寺からひと駅先の終  
着、京都駅に到着し  
た。  
今回は、始発駅の  
奈良から終着京都ま  
で、快速電車で五〇  
分程度で着いてしま  
う近距離だが、奈良  
と京都を結ぶ重要な  
路線であり、途中、  
多くの歴史的遺産に  
触れられる特異な路  
線でもあるため、途  
中下車して歴史に触  
れる旅を満喫するに  
はお勧めの路線だ。

鉄つちゃん旅日記

## SNS活用で積極情報発信へ

### 当社でツイッター開始



けからツイッター  
を活用した情報  
発信、キャンペーン  
などを本格的  
に開始したが、  
開始早々からフォ  
ロワーが順調に  
増え、そのペースは想定を  
大きく上回っている。  
これに対して当社ツ  
イッター担当者は「想  
定以上のペース」とフォ  
ロワー急増を評価、今  
後も、フォロワー拡大  
に向けてのプレゼント  
キャンペーンなどを順  
次行うほか、当社工場  
内のホットな現場や新  
製品開発の様子など、  
当社の「今」を随時発  
信していく計画で、  
「是非、QRコードか  
らフォローして欲しい」  
と期待を寄せている。

中井商店代表の私及川が、鉄道旅と並んで大好  
きなお勧めの本を紹介する新コーナー、今回はルポライ  
ターでノンフィクション作家、沢木耕太郎さんが書  
いた「天路の旅人(新潮社、一千四百円)」を紹介しま  
す。  
第 一 次 大 戦 末 期、軍の密偵として中国大陸の奥深  
く潜入し、チベットやインドまで正に波乱の  
旅を続けた実在の旅人を綿密な取材で書き綴つ  
たノンフィクション。

### 戦中の中国密偵旅に圧倒

#### 私の一冊

厚い装いと、全五六七ページ及ぶ旅の詳細は、あつ  
という間に読んでしまえるほどの面白さと波乱に満ち  
た内容にしばらくぶりに、ドツブリとはまった読書タ  
イムを提供してくれたお勧めの本だ。  
ただ、残念だったのは、あれだけ綿密な取材ででき  
細かく描写された旅が  
終わってからの、終章に  
辿り着くまでの、想定外の  
あつさり感には驚いた。  
感動的な結末が待っているの  
か?と勝手に妄想しての  
は汗顔だった。



当社、中井英策商店  
は、かねてから準備を  
進めていたソーシャル  
メディア、いわゆるS  
NSを活用した情報発  
信を本格的に開始。ツ  
イッターでの発信を始  
めたほか、インスタグ  
ラムとの相互発信など  
も行うなど、「より身  
近な存在」として親し  
んでもらおうという活  
動を本格化している。  
当社では、今年年明